

定 款

社会福祉法人ともえ会

定 款

社会福祉法人ともえ会

第1章 総則

(目的)

第1条 この社会福祉法人（以下「法人」という。）は、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、心身ともに健やかに育成され、又は、その有する能力に応じ自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として、次の社会福祉事業を行う。

(1) 第一種社会福祉事業

- (イ) 障害児入所施設の経営
- (ロ) 特別養護老人ホームの経営
- (ハ) 障害者支援施設の経営

(2) 第二種社会福祉事業

- (イ) 老人デイサービスセンターの経営
- (ロ) 老人介護支援センターの経営
- (ハ) 老人居宅介護等事業の経営
- (ニ) 老人短期入所事業の経営
- (ホ) 障害福祉サービス事業の経営
- (ヘ) 障害児通所支援事業の経営
- (ト) 障害児相談支援事業の経営
- (チ) 相談支援事業の経営

(名称)

第2条 この法人は、社会福祉法人ともえ会という。

(経営の原則等)

第3条 この法人は、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を确实、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保を図り、もって地域福祉の推進に努めるものとする。

2 この法人は、地域社会に貢献する取組として、地域の独居高齢者及び障害児・者等を支援するため、無料又は低額な料金で福祉サービスを積極的に提供するものとする。

(事務所の所在地)

第4条 この法人の事務所を広島県三次市粟屋町11664番地に置く。

第2章 評議員

(評議員の定数)

第5条 この法人に評議員7名を置く。

(評議員の選任及び解任)

第6条 この法人に評議員選任・解任委員会を置き、評議員の選任及び解任は、評議員選任・解任委員会において行う。

2 評議員選任・解任委員会は、監事1名、事務局員1名、外部委員2名の合計4名で構成する。

3 選任候補者の推薦及び解任の提案は、理事会が行う。評議員選任・解任委員会の運営についての細則は、理事会において定める。

4 選任候補者の推薦及び解任の提案を行う場合には、当該者が評議員として適任及び不適任と判断した理由を委員に説明しなければならない。

5 評議員選任・解任委員会の決議は、委員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。ただし、外部委員の1名以上が出席し、かつ、外部委員の1名以上が賛成することを要する。

(評議員の資格)

第7条 社会福祉法第40条第4項及び第5項を遵守するとともに、この法人の評議員のうちには、評議員のいずれか1人及びその親族その他特殊の関係がある者（租税特別措置法施行令第25条の17第6項第1号に規定するものをいう。以下同じ。）の合計数が評議員総数（現在数）の3分の1を超えて含まれることになってはならない。

(評議員の任期)

第8条 評議員の任期は、選任後4年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない。

2 任期の満了前に退任した評議員の補欠として選任された評議員の任期は、退任した評議員の任期の満了する時までとすることができる。

3 評議員は、第5条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお評議員としての権利義務を有する。

(評議員の報酬等)

第9条 評議員に対して、1人あたりの各年度の総額が24万円を超えない範囲で、評議員会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を、報酬として支給することができる。

第3章 評議員会

(構成)

第10条 評議員会は、全ての評議員をもって構成する。

(権限)

第11条 評議員会は、次の事項について決議する。

(1) 理事及び監事の選任又は解任

(2) 理事及び監事の報酬等の額

- (3) 理事及び監事並びに評議員に対する報酬等の支給の基準
- (4) 事業計画及び収支予算の承認
- (5) 計算書類（貸借対照表及び収支計算書）及び財産目録の承認
- (6) 臨機の措置（予算外の新たな義務の負担及び権利の放棄）
- (7) 公益事業に関する重要な事項
- (8) 定款の変更
- (9) 残余財産の処分
- (10) 基本財産の処分
- (11) 社会福祉充実計画の承認
- (12) 解散
- (13) その他評議員会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項
(開催)

第12条 評議員会は、定時評議員会として毎会計年度終了後3か月以内に1回開催するほか、3月及び必要がある場合に開催する。

(招集)

第13条 評議員会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき理事長が招集する。

2 評議員は、理事長に対し、評議員会の目的である事項及び招集の理由を示して、評議員会の招集を請求することができる。

(議長)

第14条 評議員会の議長は、当該評議員会において、出席評議員の中から選出する。

(決議)

第15条 評議員会の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の3分の2以上に当たる多数をもって行わなければならない。

- (1) 監事の解任
- (2) 定款の変更
- (3) その他法令で定められた事項

3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、各候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第17条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。

4 第1項及び第2項の規定にかかわらず、評議員（当該事項について議決に加わることができるものに限る。）の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、評議員会の決議があったものとみなす。

(議事録)

第16条 評議員会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 議事録には、議長及びその会議に出席した評議員のうちから選出された議事録署名人2名が、署名し、又は記名押印する。

第4章 役員及び職員

(役員の数)

第17条 この法人には、次の役員を置く。

(1) 理事 6名

(2) 監事 2名

2 理事のうち1名を理事長とする。

(役員を選任)

第18条 理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する。

2 理事長は、理事会の決議によって理事の中から選定する。

(役員資格)

第19条 社会福祉法第44条第6項を遵守するとともに、この法人の理事のうちには、理事のいずれか1人及びその親族その他特殊の関係がある者の合計数が、理事総数（現在数）の3分の1を超えて含まれることになってはならない。

2 社会福祉法第44条第7項を遵守するとともに、この法人の監事には、この法人の理事（その親族その他特殊の関係がある者を含む。）及び評議員（その親族その他特殊の関係がある者を含む。）並びに、この法人の職員が含まれてはならない。また、各監事は、相互に親族その他特殊の関係がある者であってはならない。

(理事の職務及び権限)

第20条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。

2 理事長は、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行する。

3 理事長は、毎会計年度に4か月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務及び権限)

第21条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

2 監事は、いつでも、理事及び職員に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

(役員任期)

第22条 理事又は監事の任期は、選任後2年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない。

2 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとすることができる。

3 理事又は監事は、第17条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

(役員解任)

第23条 理事又は監事が、次のいずれかに該当するときは、評議員会の決議によって解

任することができる。

- (1) 職務上の義務に違反し、又は職務を怠ったとき。
- (2) 心身の故障のため、職務の執行に支障があり、又はこれに堪えないとき。

(役員報酬等)

第24条 理事及び監事に対して、評議員会において別に定める総額の範囲内で、評議員会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を報酬等として支給することができる。

(職員)

第25条 この法人に、職員を置く。

- 2 この法人の設置経営する施設の長他の重要な職員（以下「施設長等」という。）は、理事会において、選任及び解任する。
- 3 施設長等以外の職員は、理事長が任免する。

第5章 理事会

(構成)

第26条 理事会は、全ての理事をもって構成する。

(権限)

第27条 理事会は、次の職務を行う。ただし、日常の業務として理事会が定めるものについては理事長が専決し、これを理事会に報告する。

- (1) この法人の業務執行の決定
- (2) 理事の職務の執行の監督
- (3) 理事長の選定及び解職

(招集)

第28条 理事会は、理事長が招集する。

- 2 理事長が欠けたとき又は理事長に事故があるときは、各理事が理事会を招集する。

(議長)

第29条 理事会の議長は、理事長がこれに当たる。ただし、理事長に事故があるとき又は欠けたときは、他の理事がこれに当たる。

(決議)

第30条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

- 2 前項の規定にかかわらず、理事（当該事項について議決に加わることができるものに限る。）の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたとき（監事が当該提案について異議を述べたときを除く。）は、理事会の決議があったものとみなす。

(議事録)

第31条 理事会の議事については、法令の定めるところにより、議事録を作成する。

- 2 出席した理事長及び監事は、前項の議事録に署名し、又は記名押印する。

第6章 資産及び会計

(資産の区分)

第32条 この法人の資産は、これを分けて基本財産とその他財産及び公益事業用財産の3種とする。

- 2 基本財産は、別表に掲げる財産をもって構成する。
- 3 その他の財産は、基本財産及び公益事業用財産以外の財産とする。
- 4 公益事業用財産は、第41条に掲げる公益を目的とする事業の用に供する財産とする。
- 5 基本財産に指定されて寄附された金品は、速やかに第2項に掲げるため、必要な手続きをとらなければならない。

(基本財産の処分)

第33条 基本財産を処分し、又は担保に供しようとするときは、理事総数（現在数）の3分の2以上の同意及び評議員会の承認を得て、三次市長の承認を得なければならない。ただし、次の各号に掲げる場合には、三次市長の承認は必要としない。

- (1) 独立行政法人福祉医療機構に対して基本財産を担保に供する場合
- (2) 独立行政法人福祉医療機構と協調融資（独立行政法人福祉医療機構の福祉貸付が行う施設整備のための資金に対する融資と併せて行う同一の財産を担保とする当該施設整備のための資金に対する融資をいう。以下同じ。）に関する契約を結んだ民間金融機関に対して基本財産を担保に供する場合（協調融資に係る担保に限る。）
- (3) 社会福祉施設整備のための資金に対する融資を行う確実な民間金融機関に対して基本財産を担保に供する場合で、当該事業計画が適切であるとの関係行政庁による意見書を三次市長に届け出た場合。なお、当該貸付に係る償還が滞った場合には、遅滞なく三次市長に届け出るものとする。

(資産の管理)

第34条 この法人の資産は、理事会の定める方法により、理事長が管理する。

- 2 資産のうち現金は、確実な金融機関に預け入れ、確実な信託会社に信託し、又は確実な有価証券に換えて、保管する。
- 3 前項の規定にかかわらず、基本財産以外の資産の現金の場合については、理事会の議決を経て、株式に換えて保管することができる。

(事業計画及び収支予算)

第35条 この法人の事業計画及び収支予算書については、毎会計年度開始の日の前日までに、理事長が作成し、理事総数（現在数）の3分の2以上の同意を得て、評議員会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。

- 2 前項の書類については、主たる事務所に、当該会計年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(事業報告及び決算)

第36条 この法人の事業報告及び決算については、毎会計年度終了後、理事長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。

- (1) 事業報告
- (2) 事業報告の附属明細書
- (3) 貸借対照表
- (4) 収支計算書（資金収支計算書及び事業活動計算書）

(5) 貸借対照表及び収支計算書（資金収支計算書及び事業活動計算書）の附属明細書
(6) 財産目録

2 前項の承認を受けた書類のうち、第1号、第3号、第4号及び第6号の書類については、定時評議員会に提出し、第1号の書類についてはその内容を報告し、その他の書類については、承認を受けなければならない。

3 第1項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に5年間備え置き、一般の閲覧に供するとともに、定款を主たる事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(1) 監査報告

(2) 理事及び監事並びに評議員の名簿

(3) 理事及び監事並びに評議員の報酬等の支給の基準を記載した書類

(4) 事業の概要等を記載した書類

(会計年度)

第37条 この法人の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日をもって終わる。

(会計処理の基準)

第38条 この法人の会計に関しては、法令等及びこの定款に定めのあるもののほか、理事会において定める経理規程により処理する。

(臨機の措置)

第39条 予算をもって定めるもののほか、新たに義務の負担をし、又は権利の放棄をしようとするときは、理事総数（現在数）の3分の2以上の同意及び評議員会の承認を得なければならない。

(保有する株式に係る議決権の行使)

第40条 この法人が保有する株式（出資）について、その株式（出資）に係る議決権を行使する場合には、あらかじめ理事会において理事総数（現在数）の3分の2以上の承認を要する。

第7章 公益を目的とする事業

(種別)

第41条 この法人は、社会福祉法第26条の規定により、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することなどを目的として、次の事業を行う。

(1) 広島県障害児等療育支援事業

(2) 三次市障害児（者）療育相談支援事業

(3) 地域生活支援事業

2 公益事業に関する重要な事項については、理事総数（現在数）の3分の2以上の同意及び評議員会の承認を得なければならない。

第8章 解散

(解散)

第42条 この法人は、社会福祉法第46条第1項第1号及び第3号から第6号までの解散事由により解散する。

(残余財産の帰属)

第43条 解散（合併又は破産による解散を除く。）した場合における残余財産は、評議員会の決議を得て、社会福祉法人並びに社会福祉事業を行う学校法人及び公益財団法人のうちから選出されたものに帰属する。

第9章 定款の変更

(定款の変更)

第44条 この定款を変更しようとするときは、評議員会の決議を得て、三次市長の認可（社会福祉法第45条の36第2項に規定する厚生労働省令で定める事項に係るものを除く。）を受けなければならない。

2 前項の厚生労働省令で定める事項に係る定款の変更をしたときは、遅滞なくその旨を三次市長に届け出なければならない。

第10章 公告の方法その他

(公告の方法)

第45条 この法人の公告は、社会福祉法人ともえ会の掲示板に掲示するとともに、官報、新聞又は電子公告に掲載して行う。

(施行細則)

第46条 この定款の施行についての細則は、理事会において定める。

附則（昭和48年11月7日設立）

この法人の設立当初の役員は、次のとおりとする。ただし、この法人の成立後遅滞なく、この定款に基づき、役員を選任を行うものとする。

理事長	武村一郎
常務理事	前岡 怜
理事	川添惣治
理事	箕岡源二
理事	吉村範寿
理事	梅木浩行
監事	難波克見
監事	前岡節子

附則（昭和54年5月16日 厚生大臣認可）

この定款の変更は、厚生大臣の変更認可があった日から施行する。

附則（昭和55年11月6日 厚生大臣認可）

この定款の変更は、厚生大臣の変更認可があった日から施行する。

附則 この定款の変更は、昭和59年3月31日から施行する。

附則 この定款の変更は、昭和60年5月10日から施行する。

附則（昭和60年10月15日 厚生大臣認可）

この定款の変更は、厚生大臣の変更認可があった日から施行する。

附則 この定款の変更は、昭和61年5月17日から施行する。

附則（昭和61年6月24日 厚生大臣認可）

この定款の変更は、厚生大臣の変更認可があった日から施行する。

附則（昭和63年10月18日 広島県知事認可）

この定款の変更は、広島県知事の変更認可があった日から施行する。

附則（平成2年3月30日 広島県知事認可）

この定款の変更は、広島県知事の変更認可があった日から施行する。

附則 この定款の変更は、平成3年1月31日から施行する。

附則（平成4年3月13日 広島県知事認可）

この定款の変更は、広島県知事の変更認可があった日から施行する。

附則 この定款の変更は、平成4年5月8日から施行する。

附則（平成5年3月22日 広島県知事認可）

この定款の変更は、広島県知事の変更認可があった日から施行する。

附則（平成7年12月6日 広島県知事認可）

この定款の変更は、広島県知事の変更認可があった日から施行する。

附則（平成11年1月6日 広島県知事認可）

この定款の変更は、広島県知事の変更認可があった日から施行する。

附則（平成11年8月18日 広島県知事認可）

この定款の変更は、広島県知事の変更認可があった日から施行する。

附則（平成11年10月12日 広島県知事認可）

この定款の変更は、広島県知事の変更認可があった日から施行する。

附則（平成12年10月11日 広島県知事認可）

この定款の変更は、広島県知事の変更認可があった日から施行する。

附則（平成14年1月28日 広島県知事認可）

この定款の変更は、広島県知事の変更認可があった日から施行する。

附則（平成14年11月7日 広島県知事認可）

この定款の変更は、広島県知事の変更認可があった日から施行する。

附則（平成15年7月22日 広島県知事認可）

この定款の変更は、広島県知事の変更認可があった日から施行する。

附則（平成16年9月24日 広島県知事認可）

この定款の変更は、広島県知事の変更認可があった日から施行する。

附則（平成17年1月14日 広島県知事認可）

この定款の変更は、広島県知事の変更認可があった日から施行する。

附則（平成17年6月17日 広島県知事認可）

この定款の変更は、広島県知事の変更認可があった日から施行する。

附則（平成18年7月20日 広島県知事認可）

この定款の変更は、広島県知事の変更認可があった日から施行する。

附則（平成18年12月7日 広島県知事認可）

この定款の変更は、広島県知事の変更認可があった日から施行する。

附則（平成21年4月7日 広島県知事認可）

この定款の変更は、広島県知事の変更認可があった日から施行する。

附則 この定款の変更は、平成21年9月15日から施行する。

附則（平成22年3月23日 広島県知事認可）

この定款の変更は、広島県知事の変更認可があった日から施行する。

附則（平成24年10月17日 広島県知事認可）

この定款の変更は、広島県知事の変更認可があった日から施行する。

附則（社会福祉法の改正）

所轄庁の変更に係る第11条、第19条、第31条及び第32条の規定は、平成25年4月1日から施行する。

附則（平成25年6月13日 三次市長認可）

この定款の変更は、三次市長の変更認可があった日から施行する。

附則（平成26年7月16日 三次市長認可）

この定款の変更は、三次市長の変更認可があった日から施行する。

附則（平成27年4月30日 三次市長認可）

この定款の変更は、三次市長の変更認可があった日から施行する。

附則（平成27年11月26日 三次市長認可）

この定款の変更は、三次市長の変更認可があった日から施行する。

附則（平成28年10月5日 三次市長認可）

この定款の変更は、三次市長の変更認可があった日から施行する。

附則 この定款の変更は、三次市長の認可日（平成29年1月31日）にかかわらず、社会福祉法附則第7条第2項の規定により、平成29年4月1日から施行する。

附則（平成29年7月20日 三次市長認可）

この定款の変更は、三次市長の変更認可があった日から施行する。

附則（平成30年3月9日 三次市長認可）

この定款の変更は、三次市長の変更認可があった日から施行する。

附則（平成31年3月18日 三次市長認可）

この定款の変更は、三次市長の変更認可があった日から施行する。

附則（令和元年11月11日 三次市長認可）

この定款の変更は、三次市長の変更認可があった日から施行する。

別表 1

基本財産（土地）

用 途	所 在	地 番	地 目	地積(㎡)
児童発達支援センターバンビの敷地	広島県三次市栗屋町字塚之本	11604番1	宅 地	1914.00
障害児入所施設子鹿医療療育センターの敷地	広島県三次市栗屋町字柳迫	11664番	宅 地	25961.25
障害児入所施設子鹿医療療育センターの敷地	広島県三次市栗屋町字柳迫	11685番	山 林	459
障害児入所施設子鹿医療療育センターの敷地	広島県三次市栗屋町字柳迫	11700番	宅 地	307.22
障害児入所施設子鹿医療療育センターの敷地	広島県三次市栗屋町字柳迫	11701番1	雑種地	24423
障害児入所施設子鹿医療療育センターの敷地	広島県三次市栗屋町字柳迫	11707番14	雑種地	2808
障害児入所施設子鹿医療療育センターの敷地	広島県三次市栗屋町春日原	12366番3	雑種地	286
障害児入所施設子鹿医療療育センターの敷地	広島県三次市栗屋町	2746番1	雑種地	338
障害児入所施設子鹿医療療育センターの敷地	広島県三次市栗屋町	2747番1	山 林	210
障害者支援施設ともえ学園の敷地	広島県三次市西河内町字大谷山	10408番16	山 林	118
障害者支援施設ともえ学園の敷地	広島県三次市西河内町字大谷山	10409番5	山 林	12047
障害者支援施設ともえ学園の敷地	広島県三次市西河内町字大谷山	10427番	山 林	7933
障害者支援施設ともえ学園の敷地	広島県三次市西河内町字大谷山	10428番	山 林	14214
障害者支援施設ともえ学園の敷地	広島県三次市西河内町字大谷山	10429番	山 林	3752
障害者支援施設ともえ学園の敷地	広島県三次市西河内町字大平山	10099番	山 林	8181
障害者支援施設ともえ学園の敷地	広島県三次市西河内町字大平山	10105番1	山 林	20610
障害者支援施設ともえ学園の敷地	広島県三次市西河内町字鷹ノ巣	10250番	山 林	6611
障害者支援施設ともえ学園の敷地	広島県三次市西河内町字鷹ノ巣	10251番	山 林	8809
障害者支援施設ともえ学園の敷地	広島県三次市西河内町字鷹ノ巣	10252番1	山 林	5123
障害者支援施設ともえ学園の敷地	広島県三次市西河内町字鷹ノ巣	10252番2	山 林	991
障害者支援施設ともえ学園の敷地	広島県三次市西河内町字鷹ノ巣	10253番1	山 林	12237
障害者支援施設ともえ学園の敷地	広島県三次市西河内町字鷹ノ巣	10253番2	山 林	198
障害者支援施設ともえ学園の敷地	広島県三次市西河内町字鷹ノ巣	10254番1	山 林	12793
障害者支援施設ともえ学園の敷地	広島県三次市西河内町字鷹ノ巣	10254番2	山 林	6942
障害者支援施設ともえ学園の敷地	広島県三次市西河内町字鷹ノ巣	10255番1	山 林	4264
障害者支援施設ともえ学園の敷地	広島県三次市西河内町字鷹ノ巣	10255番3	山 林	2776
障害者支援施設ともえ学園の敷地	広島県三次市西河内町字鷹ノ巣	10261番	山 林	2347
障害者支援施設ともえ学園の敷地	広島県三次市西河内町字鷹ノ巣	10262番	山 林	1444
障害者支援施設ともえ学園の敷地	広島県三次市西河内町字鷹ノ巣	10263番	山 林	6552
障害者支援施設ともえ学園の敷地	広島県三次市西河内町字鷹ノ巣	10264番	山 林	1586
障害者支援施設ともえ学園の敷地	広島県三次市西河内町字鷹ノ巣	10265番	山 林	1705
障害者支援施設ともえ学園の敷地	広島県三次市西河内町字鷹ノ巣	10404番	山 林	10948
障害者支援施設ともえ学園の敷地	広島県三次市西河内町字鷹ノ巣	10405番1	山 林	7446
障害者支援施設ともえ学園の敷地	広島県三次市君田町藤兼字棒地	10016番	山 林	7878
障害者支援施設ともえ学園の敷地	広島県三次市西河内町	352番	原 野	2278
障害者支援施設ともえ学園の敷地	広島県三次市西河内町	704番1	雑種地	83
障害者支援施設ともえ学園の敷地	広島県三次市西河内町	704番3	雑種地	20
障害者支援施設ともえ学園の敷地	広島県三次市西河内町	713番7	山 林	120
障害者支援施設ともえ学園の敷地	広島県三次市西河内町	713番8	雑種地	9.09
障害者支援施設ともえ学園の敷地	広島県三次市西河内町	713番9	雑種地	9.42

別表2

基本財産（建物）

用 途	所 在	建物番号	種 別	構 造	床面積 (㎡)
児童発達支援センターバンビの建物	広島県三次市粟屋町 字塚之本11604番地1	11604番1	児童発達支援センター	鉄筋コンクリート 造ステンレス鋼板 葺2階建	1階 351.75 2階 72.75 合計 424.50
障害児入所施設子鹿医療療 育センターの職員宿舎	広島県三次市粟屋町 4954番地1	4954番1	共同住宅	鉄筋コンクリート 造陸屋根2階建	1階 122.46 2階 122.46 合計 244.92
障害児入所施設子鹿医療療 育センターの職員宿舎のボ イラー室	広島県三次市粟屋町 4954番地1		ボイラー室	コンクリートプロ ック造スレート葺 平屋建	9.03
障害児入所施設子鹿医療療 育センターの建物	広島県三次市粟屋町 字柳迫11664番地	11664番	障害児入所施設	鉄筋コンクリート 造かわらぶき3階 建	1階 1841.92 2階 2132.66 3階 1774.50 合計 5749.08
障害児入所施設子鹿医療療 育センターの建物のプロパ ン庫	広島県三次市粟屋町 字柳迫11664番地		プロパン庫	鉄筋コンクリート 造亜鉛メッキ鋼板 ぶき平家建	8.10
障害児入所施設子鹿医療療 育センターの車庫	広島県三次市粟屋町 字柳迫11664番地		車庫	軽量鉄骨造亜鉛メ ッキ鋼板ぶき平家 建	52.13
障害児入所施設子鹿医療療 育センターの多目的建物	広島県三次市粟屋町 字柳迫11700番地	11700番の 2	店舗・倉庫	鉄骨鉄筋コンクリ ート造スレート葺 2階建	1階 295.00 2階 299.20 合計 594.20
障害者支援施設ともえ学園 の建物	広島県三次市君田町 藤兼字棒地10016番 地 広島県三次市西河内 町字鷹ノ巣10250番 地 広島県三次市西河内 町字鷹ノ巣10404番 地	10016番	障害者支援施設	鉄筋コンクリート 造瓦葺平家建	2492.95
障害者支援施設ともえ学園 の作業場	広島県三次市西河内 町字鷹ノ巣10405番 地1	10405番1	作業場	鉄骨造スレート葺 平家建	89.66
障害者支援施設ともえ学園 の作業所	広島県三次市西河内 町字大谷山10428番 地	10428番	作業所	木造スレート葺平 家建	25.07
障害者支援施設ともえ学園 の無人販売所	広島県三次市西河内 町704番地1	704番1	店舗	木造スレート葺平 家建	9.93

用 途	所 在	建物番号	種 別	構 造	床面積 (㎡)
特別養護老人ホームこじか荘の建物	広島県三次市三良坂町三良坂字塩の浦10461番地62 広島県三次市三良坂町三良坂字塩の浦10461番地42 広島県三次市三良坂町三良坂字塩の浦10461番地41 広島県三次市吉舎町敷地字埴山10068番地5	10461番62	特別養護老人ホーム	鉄筋コンクリート造陸屋根平家建	1915.70
特別養護老人ホームこじか荘の集会所	広島県三次市吉舎町敷地字埴山10068番地5	10068番5	集会所	軽量鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平家建	158.53
老人介護支援センターこじか荘の建物	広島県三次市三良坂町三良坂字塩の浦10461番地45 広島県三次市三良坂町三良坂字塩の浦10461番地41 広島県三次市三良坂町三良坂字塩の浦10461番地42 広島県三次市三良坂町三良坂字塩の浦10461番地43 広島県三次市三良坂町三良坂字塩の浦10461番地88	10461番45	在宅介護支援センター	鉄筋コンクリート造瓦葺平家建	173.50
こじか荘通所介護事業所の建物	広島県三次市三良坂町三良坂字塩の浦10461番地43 広島県三次市三良坂町三良坂字塩の浦10461番地44 広島県三次市三良坂町三良坂字塩の浦10461番地45 広島県三次市三良坂町三良坂字塩の浦10461番地46 広島県三次市三良坂町三良坂字塩の浦10461番地88	10461番43	デイサービスセンター	鉄筋コンクリート造瓦葺平家建	345.00